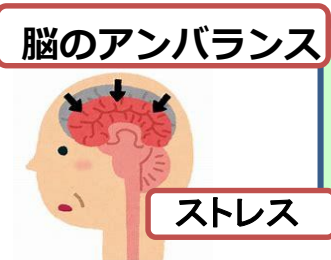




トゥレット症候群(チック症)



トゥレット症候群とは、神経精神疾患のうち、音声や行動の症状を主体とし慢性の経過をたどるものを指します。小児期に発症し、軽快・増悪を繰り返しながら慢性に経過します。約半数は18歳までにチックが消失、または予後は良いとされています。



原因：はっきりしたことはわかっていません。
遺伝的要因と環境的要因の両方が関わっているとされています。

運動チック

まばたき
目をつぶる
肩をすくめる
身体を叩く
びくつき
首振り

音声チック

咳払い
言葉を繰り返す
叫び声
発声
鼻鳴らし
うなり

複数の「運動チック」と、1つ以上の「音声チック」が1年以上持続します。

人それぞれ原因が違い、自分自身で症状をコントロールできません。症状に対して、どうすれば良いのか、一緒に考え、寄り添うことが、とても大切です。 参照:NPO 日本トゥレット協会 <https://www.bing.com/search?pglt=41&q>